

【訂正とお詫び】

午前問題の間 11 の問題中の図表、午後問題の間 4 設問 2(d)の解答・解説に誤りがありましたことお詫びして訂正させていただきます。

訂正に関する詳細は、評価採点表に同封いたします、また、弊社 Web サイトにアップしております、正誤表をご確認ください。

採点処理では、午前問題の間 11 は、受験者全員を正解とさせていただき、午後問題の間 4 は、正しい解答に基づき、採点をしています。

受験者の皆様には混乱を与えることになってしまい、改めて深くお詫び申し上げます。

■ 全体講評

応用情報技術者試験の午後試験は、記述式の問題形式で、テクノロジ系、ストラテジ系、マネジメント系、組込みシステム系の問題で構成される全 11 問のうち 5 問解答する形式です。従来通り問 1 のセキュリティ分野の問題は必須ですので、残りの 10 問から 4 問を選択します。

この 11 問から 5 問をいかに的確に選択するか（厳密には問 1 以外の 10 問から 4 問の選択）が午後試験を突破するためには重要です。まず、解答用紙に選択問題を記す必要がありますが、きちんと選択問題を明示していない（問 2 から問 11 までのうちの選択の丸が 4 問未満だったり 5 問以上だったりする）人、丸を付ける欄を間違えている人（番号の横に丸を付けるなど）が見られました。このような解答要領違反には、くれぐれも注意しましょう。場合によっては採点してもらえないこともありえるので、問題の指示に準拠して確実に問題を選択するよう心がけてください。

また、解答の字が薄く読みにくい人がかなりいました。最近では手が汚れないように薄くて堅い鉛筆や芯を使う方も増えていますが、採点者の印象が違ってきますので、できるだけ解答は濃くはっきりと書くようにしましょう。乱雑に書きなぐったような解答も散見されています。字の巧拙ではなく、濃く、メリハリのある字を書くことが重要です。またボールペンや万年筆を使用している人もみられますが、受験上の注意事項で指定されている、鉛筆やシャープペンシルを使用しましょう。

今回の公開模試 AP 午後問題は、解答問題数が多く、知識だけでなく深い思考力を問われています。全体として難易度は例年よりもやや難しめと考えられます。よって、得点が伸びなかった方は今回の模試を力試しだった

という位置づけでとらえ、点数にとらわれることなく、できなかったところをきちんと理解し、身につけるようにしてください。

AP 午後試験では、問題の分野が多岐に渡ります。解答に際しては、時間配分に注意が必要です。合わせて、どの問題を選択するか、十分に対策を考えておかなければなりません。自分自身が普段従事している業務の特質や業務経験などから、アルゴリズムやデータベースを苦手する方、ストラテジ系やマネジメント系が得意であるという方などがいると思いますが、選択する問題の分野を広く考えておいて、問題を見てから選択する問題を決定することも有効です。どの問題を選択するかは、合否に大きくかわりますので、よく考えて自身の問題選択を行いましょう。選ぶべき問題の分野は、あらかじめしっかりと学習しておく必要があります。特に知識問題に対して前提の知識が欠落していると苦戦しますので、学習していない分野の問題を慌てて選択することがないようにしましょう。

解答方法の注意点として、問題文や設問をよく読むことが重要です。解答のヒントやそのものを書いてある場合がありますし、解答表現の方向性を示していることもありますので、それを無視した独善的な解答をしないよう十分な注意が必要です。相手に伝わりにくい表現や、口語的表現にならないようにも注意しましょう。

特に、ストラテジ系・マネジメント系の問題は、問題文の文脈に沿って根拠を把握した上で解答しなければならない傾向が強く、解答表現には細心の注意が必要です。テクノロジ系の問題は、キーワードをしっかり押さえることが重要になります。なお、漢字の間違いや略字、問題文や設問文の指示に対する違反解答も見られます。これは、問題点を答えるのか、課題を答えるのか、原因・理由を答えるのかといった設問の指示に注意しましょう。また、正解のポイントに迷ったのか、複数の異なる解答要素を併記している答案もかなり見られます。このような解答は採点者の心証が悪い上に、正解要素の説明が甘くなり、効果的でないので避けるべきでしょう。

なお、指定の字数に対して極端に字数が少ない解答も説明不十分とみなされ、減点あるいは誤りとされることもありますので、注意しましょう。

最後まで粘り強く、「絶対に合格するんだ」という意志をもって試験に臨んでください。

<午後>

問1 特権 ID の管理

【採点基準】

【設問 1】

解答例どおりのみ各 2 点。

【設問 2】

- (1) 解答例どおりのみ各 1 点。
- (2) 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 2 点。

【設問 3】

- (1) 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し各 3 点。
- (2) 解答例どおりのみ役割 2 点。空欄 c, d 各 1 点。
- (3) 解答例どおりのみ 2 点。

【講評】

特権 ID に関するセキュリティや関連業務についての問題でした。特権 ID に固有のセキュリティリスクを踏まえ適切な対策についての知識や理解が求められます。記述での解答箇所については、解答要点が定まらない、設問要求に適切に対応していない解答が見られ、得点を分ける結果となりました。

設問 1 は、用語に関する選択問題でした。記号選択なので別解はありません。

設問 2(1) は、記号選択なので別解はありません。(2) は本質的な別解はありませんが、多少の表記ゆれは許容しました。表現が甘い場合は 1 点としています。

設問 3(1) は解答の要点を押さえるのはもちろんですが、表現に不備があるものが散見しましたので注意しましょう。(2), (3) は問題文の文脈から正確に解答する必要があります。

問2 床暖房設備販売メーカーのマーケティング戦略

【採点基準】

【設問 1】

解答例どおりのみ各 1 点。

【設問 2】

- (1) 解答例どおりのみ各 2 点。
- (2) 解答例どおりのみ各 2 点。

【設問 3】

対象領域も訪問対象も解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対して各 2 点。

【設問 4】

- (1) 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対して 1 点。
- (2) 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し各 2 点。

【講評】

床暖房設備販売メーカーのマーケティング戦略に関する問題でした。戦略策定プロセスに焦点を当てて取り上げています。

選択問題が多く、比較的取り組みやすい問題だったと思われます。多くの人が選択し、総じて、良くできていたと思われます。

設問 1 は、営業プロセス管理に関する記号選択問題でした。別解はありません。

設問 2 は、穴埋め記述問題でした。本質的な別解はありません。穴埋めした文章が適切になるように解答表現に注意しましょう。

設問 3 の対象領域は、安全性と快適性を求める旨も正解としました。

設問 4(1) は、コストが安いことも正解にしました。(2) は「形が自由であること」、「自社生産であること」を押さえて正解です。表現が甘い場合 1 点としました。

問3 トランプを使ったゲームのアルゴリズム

【採点基準】

【設問 1】

解答例どおりのみ完答で 2 点。

【設問 2】

解答例どおりのみ 5 点。

【設問 3】

解答例どおりのみ各 2 点。ウは 3 点。

【設問 4】

- (1) 解答例どおりのみ 2 点。
- (2) 解答例どおりのみ 2 点。

【講評】

トランプを用いた 1 人ゲームのアルゴリズムを題材にした問題です。定番である、結果のトレース、プログラムの穴埋めといったお馴染みの出題でした。

出題形式に馴染みがあるかないかで有利不利がありますが、馴染みがない場合でも、問題文の誘導にしたがい、適切に考え解答することは可能です。不慣れな分野のプログラムアルゴリズムの問題であっても、問題を選択した以上、最後まで粘り強く解答することが必要です。本問は馴染みのある人が多かったようで、高得点の方が多く、満点解答も多く見られました。

設問 1 は、ゲームのルールに従った結果のトレースを解答します。設問 2 は、配列の要素をトレースします。設問 1 も設問 2 も比較的よくできていました。

設問 3 は、プログラムの穴埋め問題でした。特に空欄エについては、前後の文脈から、条件は、日本語表記で

表現すべきと考えられます。ここで定義されていない文法で記述する解答も多かったです。適切な表現の選択に注意してください。

設問 4 は落ち着いて状況を考察することが重要です。それほど難しくなく、よくできていました。

繰り返しになりますが、解答表現に関しては、くれぐれも、その問題での表現、定義に則って記述することを心がけてください。表記ミス、転記ミスの誤りにも注意しましょう。

問 4 提案依頼書 (RFP) 作成

【採点基準】

【設問 1】

- (1) 解答例どおりのみ 2 点。
- (2) 解答例どおりのみ各 1 点。

【設問 2】

解答例どおりのみ各 2 点。

【設問 3】

- (1) 解答例どおりのみ各 2 点。
- (2) 会社例は解答例どおりのみ 3 点。理由は解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 2 点

【講評】

新規システムの RFP 作成を題材にした問題でした。提案依頼の内容、性能計算、提案書の評価などについて問われています。この問題では、計算を正確に行うように特に注意する必要があります。計算問題は、勘違いによって、大きく崩れる危険があります。実際、高得点の人がいる一方で、大きな失点をする人が散見されました。

設問 1 は、記号選択問題でした。用語知識が不確かな人は良く確認しておきましょう。問題文の文脈をしっかり押さえて解答します。

設問 2 は、計算問題でした。小数第 1 位まで求めることに留意して解答します。なお、有効数字にルーズな解答が散見しました。設問の指示を守り、小数第 1 位が「0」であっても勝手にドロップしないようにしてください。

設問 3 は、提案書の評価項目を押さえて解答する必要があります。(2)は、最低条件をクリアすることをきちんと捉えることが求められます。

問 5 ネットワークシステムの増強

【採点基準】

【設問 1】

解答例どおりのみ各 1 点。

【設問 2】

- (1) 解答例どおりのみ 2 点。
- (2) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 3 点。

【設問 3】

- (1) 解答例どおりのみ各 2 点。
- (2) 解答例どおりのみ 3 点 (いずれか一方の正解は 1 点)

【講評】

サーバに対する負荷分散の仕組みについて問う問題でした。TCP/IP, MAC アドレス, IP アドレスなどの基本的な知識と、的確な解答表現が求められる問題でした。ネットワークに関する正確な知識をもっている人とそうでない人との差が得点率にはっきり現れているように思われます。

設問 1 は、基本的な記号穴埋め選択問題で、別解はありません。

設問 2(1)は、記号選択問題なので別解はありません。(2)はキーワードをしっかり押さえている場合に正解としました。

設問 3(1)は、MAC アドレス, IP アドレスそれぞれの機能や使い方の理解が必要になります。(2)はあまり良い正答率ではありませんでした。図 1 中の字句で解答することが求められていますが、その要求を無視して数値を答えている解答が見られました。設問要求に注意して解答しましょう。

問 6 英会話学校の受講管理システム

【採点基準】

【設問 1】

解答例どおりのみ 2 点。

【設問 2】

解答例どおりのみ 2 点。

【設問 3】

解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し各 3 点。

【設問 4】

- (2) 解答例どおりのみ 3 点。
- (3) 解答例どおりのみ完答で 3 点

【講評】

英会話学校の受講システムを題材にしたデータベース設計に関する問題でした。E-R 図や SQL 文について出題されています。今回、この問題を選択した人は比較的多かったです。しかし、SQL の文法などについて学習不十分と思われる答案も散見され、全体的に正答率は低めでした。

設問 1 は E-R 図のリレーションシップやテーブルに格納する列名を解答する設問でした。外部キーを示す破線が欠けている解答が目立っています。注意しましょう。

設問 2 は、相関副問合せやグループ化に関する SQL の記述に関する設問でした。「NOT EXIST」という解答表記が非常に多かったです。データベースソフトにあまり触れたことがない人が間違いやすい解答と思われます。机上の学習だけでなく、実際に「NOT EXISTS」と打って見て正しく動作するという経験が重要です。SQL に関しては、いろいろ実装して動作を確かめる学習が望ましいでしょう。

設問 3 は、正答率が低かったです。受講の行数を空欄 e には入れる必要があります、COUNT 関数を用います。空欄 f には満足度の平均値を求める AVG 関数を用いますが、これを正確に押さえられない人が多かったです。

設問 4 は、主キーと外部キーの十分な理解が必要です。これも正答率は低めでした。

問 7 無線接続のスマートガスメータを使用した IoT システム

【採点基準】

【設問 1】

解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 4 点。

【設問 2】

- (1) 解答例どおりのみ 2 点。
- (2) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 3 点。

【設問 3】

- (1) 解答例どおりのみ各 2 点。
- (2) 解答例どおりのみ各 1 点。

【講評】

スマートガスメータを題材にした、組込みシステムの開発に関する問題です。典型的な組込みシステムの問題ですが、今の時流である IoT にフォーカスした問題のためか、関連経験のない人でも選択した方が多かったようです。組込み系に馴染みがなくても考えやすかったと思います。

設問 1 は、ガスメータの割込みに関する利点についての問題でした。消費電力の低減について、よく解答できていました。

設問 2 は、データ伝送時間の計算問題でした。これも良くできていたと思います。

設問 3(1)は、平均消費電流や電池寿命についての計算問題でした。単位の違いに着目して注意して計算する必要があります。これはあまりできていませんでした。(2)は用語の穴埋めですが、空欄 g は単純な穴埋めという解釈も可能で、「プル」も正解にしています。

この分野の記述問題では、状態や動作のメカニズムの

解答表現を正確に表現する必要があります。この点で減点や誤りとされることのないように注意しましょう。

問 8 公共施設利用予約システムの設計

【採点基準】

【設問 1】

解答例どおりのみ各 1 点。

【設問 2】

- (1) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し各 2 点。
- (2) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 2 点。

【設問 3】

- (1) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 4 点。
- (2) 解答例どおりのみ完答で 3 点。

【講評】

公共施設利用予約システムの設計を題材にした UML モデリングに関する問題でした。UML のクラス図、シーケンス図によるモデリングが取り上げられています。この種の設計に慣れている人にとっては取り組みやすかったと思われます。設問 3(1)の記述解答が取り組みにくかったようで、表現の正確さに欠けた解答が多く、総じて正答率は低めでした。

設問 1 はクラス図に関する設問でした。問題文の記述を読み説いて、解答する必要があります。全体の正答率は高いとはいえませんでした。一方で、全て正解できている解答も見られますので、落ち着いて取り組みましょう。

設問 2 は、シーケンス図に関する設問でした。シーケンス図と問題文の文脈を読み解いて解答します。これも正答率は低めでした。なお、オブジェクトの操作は「()」を記号つける必要があるので注意しましょう。

設問 3(1)は、表現は曖昧な解答が目立ちました。「一部の予約のキャンセル」が読み取れない場合は×にしました。確実に得点できる正確な表現を目指してください。(2)も正答率は低めでした。

問9 システム開発プロジェクトにおけるスコープ管理

【採点基準】

【設問 1】

- (1) 解答例どおりのみ 2 点。
- (2) 解答例どおりのみ 3 点。
- (3) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 3 点。

【設問 2】

- (1) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 3 点。
- (2) 解答例どおりのみ 3 点。

【設問 3】

- (1) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 3 点。
- (2) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 3 点。

【講評】

システム開発プロジェクトでのスコープ管理に関する問題でした。MoSCoW 分析が取り上げられており、よく知らない人は面食らったかもしれませんが、問題文の文脈に沿って考えれば解答はそれほど難しくありませんでした。ただし、解答記述は、要点を含めて表現する必要がありますが、問題文の要点を押さえきれないと得点が伸びません。人によって得点差の大きい問題となりました。

設問 1(1)は記号選択なので別解はありません。(2)は図 2 と図 4 を読み解いて正解を導出します。(3)は記述式の解答ですが比較的良くできていました。

設問 2(1)は、解答は少し難しかったと思います。具体的な何らかの事項を挙げた場合は半分の点数としました。(2)は記号選択なので別解はありません。

設問 3(1)は「プロジェクトの目的」が解答の要点です。(2)は定義の文書がないことについての解答は、半分の点数としました。

問10 キャパシティ管理

【採点基準】

【設問 1】

- (1) 解答例どおりのみ 3 点。
- (2) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 3 点。

【設問 2】

- (1) 解答例どおりのみ 3 点。
- (2) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 3 点。

【設問 3】

- (1) 解答例どおりのみ 4 点。
- (2) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 4 点。

【講評】

IT サービスのキャパシティ管理に関する問題です。解答数が少ないうえに、記述解答が多く、勘違いによる誤答や、表現が不十分な解答が見られました。注意して取り組みましょう。模範解答どおりの解答はあまり見られず、趣旨が同等と思われるものは正解としました。△として半分の点数を与えた解答もありますが、厳密には、模範解答の解説を十分に理解してください。

設問 1(1)は、記号問題で別解はありません。(2)は現状把握について解答してください。

設問 2(1)も、記号問題で別解はありません。(2)は個々の機器の必要なキャパシティが解答の要点になります。

設問 3(1)は、問題文の文脈から正解に辿り着く必要があります。(2)はテストについての適切な記述が必要です。何をどう解答すればよいのか戸惑った人が多かったものと思われます。

問11 デスクトップ仮想化の企画段階における監査

【採点基準】

【設問 1】

解答例どおりのみ各 2 点。

【設問 2】

解答例どおりのみ各 2 点。

【設問 3】

解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 2 点。

【設問 4】

解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し各 5 点。

【講評】

製薬会社におけるデスクトップ仮想化の企画段階を対象としたシステム監査分野の問題でした。監査の指摘事項、改善提案に焦点を当てており、純然たる監査プロセスについての問題ではないため、監査の経験や知識に乏しくても比較的取り組みやすかった問題だったと思います。ただしこの分野の問題を選択する場合、前提となる監査の知識をしっかりと学習しておくことが望ましいです。

設問 1 は、問題文の文脈から適切な字句を選定し、解答するもので、別解はありません。

設問 2 も、設問 1 と同様に解答します。

設問 3 は、該当部分のすぐあとが「障害」なので、それに至る前の「遅延」を想起して、解答する必要があります。設問 4(1)は業務継続の観点、(2)は災害時の必要性の観点を押さえて解答する必要があります。ここでの適切な解答表現をしっかりとめて解答しましょう。

なお、例年問 11 は、システム監査関連の知識の多少にかかわらず選択している人が多いです。ただし、そのような方は、やはり適切に解答できていないことが多いです。今回は比較的解答しやすい問題だったと思われるのですが、この分野の問題を選択する可能性がある場合は、基本的な監査知識は必ず身に付けておくようにしてください。

以上

